

ふりかえりプリント 9月第1週②

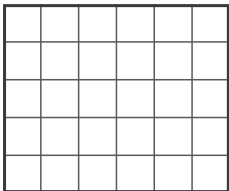
答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

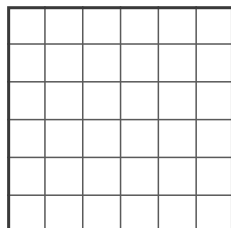
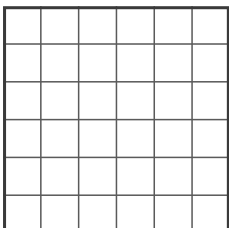
① 筆算でしましょう。

$$96 \div 24 \quad \text{答え} \quad \boxed{}$$



② 筆算でしましょう。

$$7.2 \div 6 \qquad 9.6 \div 4$$



③ 計算をしましょう。

$$\frac{3}{4} \div 2 =$$

答え

④ 計算をしましょう。

$$\frac{3}{7} \div 2 =$$

答え

B 図形・量と測定

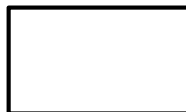
① 1辺が6cmの正方形の面積は何cm²ですか。

答え

② 三角形の3つの角の大きさの和は何度ですか。

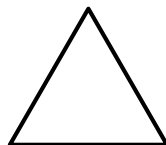
答え

③ この長方形の対称の軸は何本ありますか。



答え

④ この正三角形は、点対称な図形ですか。「はい」か「いいえ」で答えましょう。



答え

C 変化とデータ

① 12cmは3cmの何倍ですか。

答え

② 3mの1.5倍は何mですか。

答え

③ $x \times 4 = 28$ のとき、 x はいくつですか。

答え

④ A、B、C、Dの4人から2人を選ぶ選び方は、何通りありますか。

答え

こたえ（おもて）

A

- ① 4
- ② $7.2 \div 6 = 1.2$
 $9.6 \div 4 = 2.4$
- ③ $\frac{3}{4} \div 2 = \frac{3}{8}$
- ④ $\frac{3}{7} \div 2 = \frac{3}{14}$

B

- ① 36cm²
- ② 180度
- ③ 2本
- ④ いいえ

C

- ① 4倍
- ② 4.5m
- ③ 7
- ④ 6通り

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

6年 9月1週 (2) |

① = 4年 ② = 5年
③ ④ = 6年

6-09-1-2 v8



まちがいをみつけたら教えてください

最後の一段

名前

音読サイン

体育館のとび箱は、六段までが練習用、七段からは検定用と決まっていた。ぼくは五年生のときから、ずっと六段のままだった。

跳べないのではない、と自分では思っていた。助走の途中で、いつも足がゆるむ。ふみ切り板の手前で、体が勝手に速さを落とす。頭ではなく、足のほうが先に決めてしまうのだ。

六段は、五年生の三学期からずっと跳べている。同じ高さを何十回跳んでも、七段には近づかなかった。夏休みの最後、ぼくは体育館の鍵を借りて一人で練習した。七段にしてみたが、二十回跳んで二十回とも止まった。汗が床に落ちる音だけが響いた。帰ろうとしたとき、ふと、とび箱の向こう側にマットを二枚重ねた。

着地する場所が高くなれば、落ちる距離は短くなる。こわさの正体は、高さではなく、落ちる距離のほうだったのかもしれない。そう考えて助走すると、足はゆるまなかった。手が箱の先につき、体が前へ抜けた。

二学期、ぼくはマットを一枚に戻して跳んだ。それも跳べた。跳べるようになったのは、練習の回数ではなく、こわさをどこから解くかを見つけたからだと思う。あの二十回は、むだではなかった。

(1) 「正体」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 新しい名前

イ 大きな音

ウ こわれた部分

エ 本当のすがた

(2) 「ぼく」が七段を跳べなかった、いちばんの理由は何ですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 力が足りなかったから

イ 練習の時間がなかったから

ウ とび箱がこわれていたから

エ 助走の途中で足がゆるんでしまうから

(3) 「ぼく」がとび箱の向こう側に置いたものは何ですか。文章から三字で書きぬきましょう。

(4) 「ぼく」は、跳べるようになった理由をどう考えていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

書くときのポイント

「〜からだと考えている。」でおわらせる。

「回数」と「こわさ」の両方にふれる。

こたえ (うら)

- 問1 エ
- 問2 エ
- 問3 マット
- 問4 (例) 練習の回数ではなく、こわさをどこから解くかを見つけたからだと考えている。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとびったり同じなら○。
問4は〈回数ではない〉と〈こわさの解き方〉の両方が書けていれば○。

6-09-1-2 v8

6年 物語文